

令和2年 7月 1日発行 第 4号

## 学校教育目標「認めあう」

●志 抱いて 学びあい ●豊かな心で 思いあい ●元気にスポーツ 鍛えあい



# 二中だより

松伏町立松伏第二中学校

〒343-0115

北葛飾郡松伏町上赤岩 711

TEL 992-0051

<http://matsubushi.ed.jp/matu2tyu/>

発行責任者 校長



## 随感随筆 ~学校が再開して~

校長

7月 文月。特別支援学級の生徒さんから、七夕の短冊を渡されました。2枚頂きましたので、皆さまの健康と幸せを願う文を書いて笹の葉に吊るしました。今、職員玄関には、金子みすゞの「朝顔のつる」の詩と、その前に鉢植えの朝顔が置かれています。その朝顔がつぼみを3つ付けていて、どのような朝顔が咲いてくれるのか楽しみにしています。

学校に子どもたちの声に戻って早や1か月が経ちました。1, 2年生は、最初の2週間がクラス半分ずつの分散登校だったため、通常登校になってクラス全員が揃っても、しばらくは硬い雰囲気がありました。今ではどのクラスも打ち解けて、よい雰囲気です。3年生はさすがで、6月の最初からほぼ通常登校だったこともあって早くからクラスが馴染み、元気潑刺です。最後の1年間を意識高く生活していこうとする意欲を感じます。通常登校が始まった初日に生徒会オリエンテーションがありましたが、3年生の頑張りはとても素晴らしかったです。例年は体育館で全校集会の形で行っていますが、今年度は感染リスクを低くするために、放送室から各クラスのモニターに中継して行いました。私は、中継の様子を見にいくと生徒が緊張してしまうかもしれないと思い、職員室にいました。すると、各教室から大きな笑い声が何度も沸き起こって、職員室にまで聞こえてくるのです。3年生は学校を盛り上げようと楽しいことを一生懸命にやってくれたようです。今年度から本校に来た、ある先生は、3年生の様子を見た後に、「すごいですね。力がありますね。」と私に感想を伝え、唸っていました。私も、学校がいきなり活気づいて、3年生にはとても感謝しています。

さて、現在学校が直面している課題がいくつかあります。1つは、日々の学校生活の中で感染リスクを可能な限り低減させることです。生徒が多く触れる場所や、消毒の回数などが具体的に指示されていて、それを日々実行しています。また、学習指導要領に定められた学習内容を年度内に履修し終えることも課題です。これについては、残り時数を考えて、年間指導計画を変更したところです。このことに関しては、文科省からも、学校の授業でしかできない学習活動（理科の実験や音楽の歌唱など）を明確化して重点的に授業で行い、それ以外は家庭学習で行わせ見届けていく、という具体的な方法も示されました。

私が今一番悩んでいることは、行事の開催についてです。修学旅行は、計画では5月に行く予定でしたが、この状況で行けません。しかし現在、当初の予定とは大きく変わってはいませんが、11月に新幹線の往復の切符と2泊分の宿の予約が奇跡的に取れていて、あとは行くか行かないかを決断するだけの状況になっています。行けば感染のリスクは確かに高くなるのですが、私は、生徒にとってこの仲間たちと行ける一生に一回の修学旅行ですから、ぜひ行かせてあげたいと思っています。しかしながら、「この時期に旅行か」とお叱りのご意見もあると思います。また、感染状況の厳しい東京に行くことに加え、新幹線やバスでの移動が3密で危険じゃないか、との声も聞こえてきそうです。8月を過ぎてから町教育委員会に旅行の許可申請をします。それまでに何かありましたらご意見をお聞かせ願えればと思

っています。体育祭やしらさぎ祭、スキー教室も、修学旅行に行けるのなら、観客の制限等はあるかもしれませんが、通常の開催は可能であろうと今は考えています。(3 days は残念ながら中止になりました。)

新型コロナウイルスへの学校における対応は、おそらく100%の正解はないのだと思います。70%の正解を、みんなで知恵を出し合って75%の正解にする、そんな日々がこれからも続きそうです。ご理解ご協力をお願いすることも多々あるかと存じます。今後ともどうぞよろしく願いいたします。